

令和7年度第1回日進市保健センター運営協議会議事録

【概要】

日時	令和7年7月8日（火）午後1時30分から午後2時36分まで
場所	日進市保健センター2階会議室
出席者	（委員11名） 三藤泰史（医師）、清水恵子（医師）、東公彦（歯科医師）、 田村一央（歯科医師）、恒川敬和（保健センター診療管理者）、 青山雅道（日進市社会福祉協議会長）、 牧秀次（あいち尾東農業協同組合日進地域総括理事）、 佐藤里美（日進市地域女性団体連絡協議会長）、安部佐和子（学識経験者）、 奥澤弘子（公募市民）、渡邊秀人（愛知県瀬戸保健所長） （順不同）
欠席者	1名
事務局	與語隆弘（健康子ども部長）、蟹江砂織（健康課長）、 小川まゆみ（同課統括保健師）、浅井美加（同課課長補佐）、 木村文香（同課総括管理栄養士）、森理恵（同課保健主任専門員）、 増山春江（同課保健主任専門員）、奥田美紀（同課保健主任専門員）、 三好明子（同課保健主任専門員）八木佳紀（同課主任）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	有（2名）

【内容】

事務局	あいさつ 会議の開催にあたり、健康子ども部長からご挨拶を申し上げます。
部長	あいさつ
事務局	配布資料の確認をさせていただきます。（資料の確認） 委員の委嘱につきましては、お手元に配布させていただきましたので、これをもって 委嘱書の交付に代えさせていただきます。 任期は、令和7年4月1日から令和9年3月末日までの2年です。 長い期間となりますが、よろしくお願い申し上げます。 皆さまに一言ずつ自己紹介をいただきたいと思っております。
委員	自己紹介
事務局	では、議題に入りますが、今回は今期最初の協議会となりますので、まず、 会長・副会長を選出いたします。

会長、副会長の選出は日進市保健センター条例施行規則第5条第2項の規定により委員の互選となります。どなたか推薦がございましたらご発言をお願いいたします。

委員 会長に、保健・福祉の分野に精通しておられます日進市社会福祉協議会会長の青山委員に、副会長に、保健センター診療管理者の恒川委員をお願いしてはいかがでしょうか。

事務局 ただいま、会長に青山委員、副会長に恒川委員のご推薦がございましたが、いかがでしょうか。

委員 異議なし

事務局 会長、副会長が決定しましたので、あらためて会長より挨拶をいただきたいと思えます。

会長 あいさつ

事務局 ありがとうございます。それでは、以後の議事進行は会長をお願いいたします。

会長 それでは、議事に入ります。
本協議会は傍聴が可能な会議となっています。本日傍聴希望者はありますか。

事務局 2名傍聴希望者がいます。

会長 本日は、2名の方が傍聴を希望しています。本日の議題は次第のとおりです。
個人のプライバシー等、公開することが適当でない事項の審議はありませんので、傍聴希望者の入室を許可しますが、委員の皆様、よろしいでしょうか。

委員 異議なし

会長 それでは、傍聴者を通します。(傍聴者入室)
傍聴者の皆様には、会の進行にご協力いただきますようお願いいたします。

会長 それでは、次第にしたがって議事を進めます。委員の皆様の関連なご議論をお願いいたします。
議題(1)保健センターの施設概要について事務局説明をお願いいたします。

事務局 保健センターの施設概要について(資料No.1)を説明

会 長 只今、説明のありましたことについて、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。
特にないようですので、次の議題へ進みます。
議題（２）令和６年度事業実施状況について事務局説明をお願いします。

事務局 令和６年度事業実施状況について（資料No.2～5）を説明

会 長 只今、説明のありましたことについて、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委 員 資料No.2-1にある不妊治療の助成事業は、どのように内容が変化して現在の事業になっているのか。

事務局 令和４年度まで一般不妊治療助成事業として人工授精やタイミング法が対象でしたが、一般不妊治療が保険適用になったため、令和５年度から不妊治療前ペア検査費助成事業に変更しました。

委 員 不妊治療前ペア検査費助成事業はどのような周知方法をしているのか。

事務局 広報紙に年１回掲載しています。ホームページにも掲載しています。
また、以前一般不妊治療助成事業を実施していた医療機関に対しても、不妊治療前ペア検査費助成事業について情報提供し周知していただいています。

委 員 資料No.2-1にある「妊産婦歯科」の対象者数が令和５年度は８４８件なのに、令和６年度は減少して７３４件になっていることは少子化が加速していることを示している。これに対応して市の保健センターとしては体制の縮小などは考えているのか。

事務局 数を見ると減ってはいますが、区画整理などによる人口の増減に左右されていますので、しばらくは妊婦数の増減が続くと考えております。そのため、縮小ではなく、伴走型支援として一人ずつ丁寧に対応していく予定です。

委 員 日進市は女性の胃がんの死亡率が全国平均よりも高い。そのため取組強化をするのは、女性の胃がんの早期発見だと考えられる。しかし、資料No.3-3を確認すると胃がんが見つかった人は男性のみになっている。女性はいなかったのか。また、令和５年度は「異常なし」であったのにも関わらず、令和６年度でがんが「進行」になっていることについてどう考えているのか。

事務局 毎年男女とものがん発見者がいるため、男性のみであった報告については偶然であったと考えられます。
また、今回の報告内容については、２か月に１回ある市内医療機関との会議で共有しておりますので、検診実施医療機関には、市民に丁寧に説明していただくとともに、

今後も検診実施にご協力いただきたいと思います。

委員 胃がんの検診は進んでおり、最近ではバリウムではなく、内視鏡検査をしているため、胃がん検査の取組強化については内視鏡検査を実施している医療機関からも受診勧奨をしてもらったほうがいいのではないか。

事務局 50歳以上の方には、医療機関にもご協力いただいて内視鏡検査の受診を勧奨しています。

委員 資料No.2-2にある3～4か月児健診の令和5年度と令和6年度の受診者数はあまり変わらないが、要精密の対象者数は65人から79人に増加していることについての理由など1つ1つのそういった数値の変化の背景を説明してほしい。

事務局 3～4か月児健診についての増加した理由は不明ですが、そのような数字1つ1つについての背景を深めてまいりたいと思います。

会長 4種混合と5種混合の接種率は高いが、市民から最近流行している百日咳についての問い合わせはあるのか。

事務局 大人の方で百日咳の予防接種を打ちたいというお問い合わせは少し前にはありましたが、最近はありません。

会長 瀬戸保健所管内はどうか。

委員 例年の数倍とは聞いているが、詳細については地域の先生方が詳しく知っていると思う。

委員 百日咳は5月をピークに極端に減少した。理由としては、百日咳の件数が急増したことにより、検査キットの在庫が希薄となり、確定診断ができず、報告件数としてあがっていないと推察される。実際はもっと多い可能性もある。
また予防接種についても、3種混合のワクチンが入手できないため、接種希望があっても実施できない状況である。
入手できないことに関しては市町村レベルではなく、国レベルで対応しないと難しいと考えられ、今後の見通しが不透明である。今後どのように市民の健康を守っていくのかについては、瀬戸保健所や愛知県などの協力が必要ではないかと思う。

会長 ありがとうございます。その他、質問等ございませんか。なければ議題(3)令和7年度事業計画について事務局説明をお願いします。

事務局 令和7年度事業計画について(資料No.6～7)を説明

会 長 只今、説明のありましたことについて、ご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委 員 資料No.2-1に戻るが、2歳児歯科健診の受診率が低い点について問題はないのか。

事務局 1歳半児健診と3歳児健診は法定健診であり、未受診者へ受診勧奨をしているため、受診率が高いですが、2歳児歯科健診については任意の健診であるため、未受診者への勧奨を実施していないことも要因と考えられます。

委 員 につきん体操スポットを増やすという点について、指導者はどうやって増やしているのか。

事務局 運動普及推進員養成講座やにつきん体操指導者講習会で行っています。

会 長 本日本日の議題は以上になりますが、委員の皆様から保健センター全体あるいは保健行政に関するご意見、ご質問等がありますでしょうか。

会 長 特にないようですので、次第の3その他について事務局からの報告はありますか。

事務局 特にございません。

会 長 全ての議事は終了しました。皆様には貴重なご意見をいただくとともに、会の進行にご協力いただきありがとうございました。それでは進行を事務局に返します。

事務局 委員の皆様には、活発なご議論をありがとうございました。
次回の運営協議会は、保健センターの運営に関して大きな変更等がないかぎり、3月を予定しております。よろしく申し上げます。
これをもちまして、運営協議会を終了させていただきます。
ありがとうございました。

(午後2時36分終了)